

在宅医療の現状と今後 —多職種連携の視点から—

在宅医療を支える多職種連携について、大学病院・急性期・在宅それぞれの立場から学ぶ勉強会です。

現場で役立つ視点や実際の連携事例をご紹介します。

開催概要

日時：令和8年4月28日(火)

19:00～20:30 (90分) 受付時間 18:45～

会場：高井戸区民センター 第9会議室

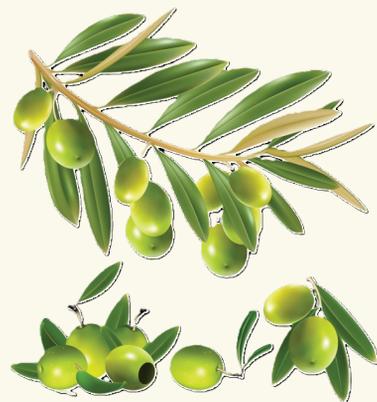
(杉並区高井戸東3丁目7番5号)

対象：ケアマネジャー・訪問看護ステーション職員の皆さま等々

参加費：無料

持ち物：筆記用具・名刺

※飲み物等は準備いたします。



●プログラム

1. 開会あいさつ・クリニック紹介 (5分)

- ・杉並オリーブホームケアクリニック

院長 **大草 幹大**

2. 講演 (60分)

- ・杏林大学医学部付属病院

教授 **長谷川 浩** (救急総合診療科)

「老年医学の視点から考える在宅医療」

- ・杏林大学医学部付属杉並病院

教授 **鈴木 裕** (消化器・一般外科)

「急性期・大学病院から見た在宅医療連携の重要性」

- ・杏林大学医学部付属杉並病院

課次長 **宇都宮 勢津子** (患者支援センター/MSW)

「在宅医療におけるMSWの役割と連携の実際」

～在宅にお帰りになる患者さんにMSWができること～

3. 実際の事例紹介 (20分)

在宅医療の現場からの具体的なケース紹介

4. まとめ (5分)

今後の連携について



↑ **二次元コードより参加
申し込みをお願いします**

※定員50名にて先着順となります
問合せ：03-5941-6285

主催：医療法人社団KRM 杉並
オリーブホームケアクリニック